

編集後記

今巻は、藤岡新治先生のご退職記念号とさせて頂きました。藤岡先生にはご無理を申し上げて、残る者にお言葉を頂戴致しました。研究室一同、永年の大学や学会また臨床現場での多大なるご功績に敬意を表しますとともに、先生が築いてこられた心理学研究室の伝統を継承してまいりますことをお誓い申し上げます。読者におかれましては、学部長、学科長の献呈の辞とともに、先生のお言葉をご覧頂き、あらためて藤岡先生のお人なりに触れ、責務に邁進して行かれることを願います。

また今巻心理学篇では、6編の論文と在外研究報告、そして各教員研究室の活動報告と研究室報を掲載していますが、学生や大学院生、教員がそれぞれに研究活動を活発に展開していた様子を窺うことができます。専修大学心理学研究室の研究力と教育力の高さが論集においても示されることとなりました。

折しも、公認心理師養成に対応させるべくカリキュラムの策定等の作業に追われる日々でありましたが、そのような多忙な中で、ご執筆を頂いた大学院生ならびに先生方、査読や室報の編集をご担当頂いた編集委員の先生方に御礼を申し上げます。また、日程や編集作業に関しましてご無理を申し上げたにもかかわらず、ご編集の多大な労を賜りました専修大学出版社、相川美紀様には心より深謝を申し上げます。

専修大学の心理学研究室は、文学部人文学科心理学コースが1966年に創設されて、今年度で51年と半世紀を超えました。1年として同じ年はありませんが、今年度は藤岡先生のご退職が心理学研究室の歴史に刻まれることとなりました。今後もさらに、心理学科・心理学専攻における研究と教育の充実と発展の歴史が刻まれ続けていきます。心理学研究室の永く続いていく歩みを心理学篇が綴っていくことを願います。

(心理学科編集委員主幹 下斗米淳)